

## ■ 特別講演（ロツテ基金講演）

PL-1

清野 宏

（東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野）

「粘膜免疫による常在菌共生の場形成からワクチン開発まで」

座長：山本 正文（日大・松戸歯・感染・免疫）

日時：9月21日13:00~14:00

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

## ■ ライオン学術賞受賞講演

L-1

飯村 忠浩

（東医歯大・グローバルCOE・口腔病理）

「骨組織の細胞機能イメージング法による新規の機能解析」

座長：山本 浩嗣（日大・松戸歯・口腔病理）

L-2

武田 弘資

（東大・院薬・細胞情報）

「細胞のストレス応答を制御するシグナル伝達機構の解明」

座長：安孫子宜光（日大・松戸歯・生化学・分子生物）

L-3

谷村 明彦

（北医大・歯・口腔生物・薬理）

「蛍光イメージングによる細胞内カルシウム情報伝達系の研究」

座長：東城 庸介（北医大・歯・口腔生物・薬理）

日時：9月22日14:10~15:10

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

## ■ 歯科基礎医学会賞受賞講演

### 第 22 回歯科基礎医学会賞

日時：9月22日 15:10～16:10

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

Y-1：【微生物学分野】座長：上西 秀則（福歯大・機能生物化学・感染生物）

佐藤 啓子（長大・院医歯薬・口腔病原微生物）

「バクテロイデーテス細菌におけるタンパク分泌、滑走運動および病原性」

受賞対象論文：A protein secretion system linked to bacteroidete gliding motility and pathogenesis：Proc. Natl. Acad. Sci. USA 107 巻 276 頁～281 頁（第 50 回歯科基礎医学会学術大会発表）

Y-2：【解剖学部門】座長：明坂 年隆（朝日大・歯・口腔解剖）

松永 智（東歯大・解剖）

「骨梁の構造特性を考慮した顎骨のバイオメカニクス」

受賞対象論文：The influence of bite force on the internal structure of the mandible through implant：Journal of Oral Biosciences 50(3)巻 194 頁～199 頁（第 49, 50 回歯科基礎医学会学術大会発表）

Y-3：【生理学部門】座長：細井 和雄（徳大・院ヘルスバイオサイエンス・口腔分子生理）

辻村 恭憲（新大・院医歯・摂食嚥下リハ）

「嚥下反射調節におけるラット脳幹ニューロン ERK リン酸化の関与」

受賞対象論文：Involvement of ERK phosphorylation in brainstem neurons in modulation of swallowing reflex in rats：Journal of Physiology 587 巻 805 頁～817 頁（第 49 回歯科基礎医学会学術大会発表）

Y-4：【薬理学分野】座長：大谷 啓一（東医歯大・院医歯・硬組織薬理）

川久保友世（九大・院薬・創薬科学・プロテアーゼ疾患制御）  
「癌の増殖・転移におけるカテプシン E の役割」

受賞対象論文：Cathepsin E prevents tumor growth and metastasis by catalyzing the proteolytic release of soluble TRAIL from tumor cell surface：Cancer Research 67 巻 10869 頁～10878 頁（第 49 回，50 回歯科基礎医学会学術大会発表）

Y-5：【生化学分野】座長：安孫子宜光（日大・松戸歯・生化・分子生物）

安原 理佳（昭大・歯・口腔病理）  
「リシン特異的ジンジパインは破骨細胞の分化誘導に対して、OPG を分解する事で、LPS や活性型ビタミン D<sub>3</sub> の作用を増強する」

受賞対象論文：Lysine-specific gingipain promotes lipopolysaccharide-and active-vitamin D<sub>3</sub>-induced osteoclast differentiation by degrading osteoprotegerin：Biochemical Journal 419 巻(1)159 頁～166 頁（第 49 回歯科基礎医学会学術大会発表）

## ■ 日本学術会議シンポジウム

### 「基礎歯科学人材育成 ー現状と将来ー」

座長：米田 俊之（日本学術会議第 21 期会員）

岩田 幸一（日本学術会議第 21 期特任連携会員）

日時：9 月 21 日 15：00～17：00

会場：タワーホール船堀 B 会場（小ホール）

CS-1：米田 俊之（日本学術会議第 21 期会員、阪大・院歯）

「日本の展望 歯学委員会からの提言を踏まえて」

CS-2：Han-Sung Jung（Division in Anatomy & Developmental Biology, College of Dentistry, Yonsei Univ.）

「Current Aspects of Dental Schools in Korea, up to date !!」

CS-3：Barry J Sessle（Faculty of Dentistry, Univ. of Toronto）

「Educational Features and Challenges of PhD Programmes in Dental Schools in Canada」

## ■ メインシンポジウム

### 歯科基礎医学会学術シンポジウム（ロツテ基金講演）

#### MS1 「新たな視点から口腔疾患を誘因とする難治性疾患を考える」

座長：落合 邦康（日大・歯・細菌、日大・総歯研・生体防御）  
中川 一路（東医歯大・院医歯・細菌感染制御）

日時：9月21日9：00～11：30

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

MS1-1：高齢者の栄養摂取形態と口腔の細菌叢との関連性

山下 喜久、竹下 徹、安井 雅樹、富岡未紀子（九大・院歯・口腔保健推進・口腔予防）

MS1-2：環境要因による唾液腺の障害機序

斎藤 一郎（鶴大・歯・口腔病理）

MS1-3：新たな視点から口腔疾患を誘因とする難治性全身疾患を考える

落合 邦康<sup>1</sup>、今井 健一<sup>1</sup>、落合 智子<sup>2</sup>（<sup>1</sup>日大・歯・細菌、日大・総歯研・生体防御、<sup>2</sup>日大・松戸歯・感染・防御）

MS1-4：歯周疾患の動脈硬化症リスクに及ぼす影響

山崎 和久、多部田康一、前川 知樹、高橋 直紀、青木由香莉、宮下 博考、宮内小百合、米澤 大輔、本田 朋之、奥井 隆文、奥井 桂子、伊藤 晴江、中島 貴子（新大・超域研究機構、新大・院・医歯）

MS1-5：Evasion of Periodontal and Systemic Immunity by Periodontal Bacteria

George Hajishengallis (Univ. of Louisville School of Dentistry, Oral Health and Systemic Disease)

## メインシンポジウム2

### MS2 「歯科再生医療に歯の発生生物学はどのように貢献してきたか、そして今後どのように貢献できるか」

座長：鄭 翰聖（延世大歯大 解剖・発生生物）

大島 勇人（新大・院医歯・硬組織形態）

日時：9月21日9：15～11：45

会場：タワーホール船堀 小ホール

MS2-1：オーバービュー：歯科再生医療に歯の発生生物学はどのように貢献してきたか、そして今後どのように貢献できるか

大島 勇人<sup>1</sup>、小澤 幸重<sup>2</sup>（<sup>1</sup>新大・院医歯・硬組織形態、<sup>2</sup>日大・松戸歯・組織・発生・解剖）

MS2-2：歯の比較解剖学と再生医学との接点

小澤 幸重<sup>1</sup>、馬場 麻人<sup>2</sup>、太田 正人<sup>3</sup>（<sup>1</sup>日大・松戸歯・組織・発生・解剖、東医歯大・院医歯・<sup>2</sup>硬組織構造生物、<sup>3</sup>分子発生）

MS2-3：歯の空間的パターン形成を制御する Wnt/Shh/Sostdcl ネガティブ・フィードバック・ループ

鄭 翰聖（延世大学校歯科大・解剖・発生生物）

MS2-4：歯の再生医学に貢献する幹細胞の研究と展開

原田 英光（岩医大・歯・口腔機能構造・口腔組織）

MS2-5：歯の発生プログラムからアプローチした歯科再生治療システムの開発

齋藤 正寛<sup>1,2</sup>、辻 孝<sup>2,4</sup>（<sup>1</sup>東京理大・基礎工・生物工学、<sup>2</sup>東京理大・院基礎工学・生物、<sup>3</sup>東京理大・総合研究機構、<sup>4</sup>(株)オーガンテクノロジーズ）

MS2-6：歯原性上皮の分化の分子制御メカニズム

福本 敏、中村 卓史、山田 亜矢、新垣真紀子、岩本 勉（東北大・院歯・小児発達歯）

### メインシンポジウム3

#### MS3 エナメルタンパク「アメロジェニン」

座長：本田 雅規（日大・歯・解剖Ⅱ）

須田 直人（東医歯大・院医歯・顎顔面矯正）

日時：9月21日14：00～16：30

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

MS3-1：The Amelogenin Proteins and Enamel Development in Humans and Mice  
Carolyn W. Gibson (Univ. of Pennsylvania School of Dental Medicine)

MS3-2：細胞外マトリクス「アメロジェニン」による細胞の機能制御

春山 直人（東医歯大・院医歯・顎顔面頸部機能再建・顔面機能修復・顎顔面矯正、グローバル COE プログラム 歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点）

MS3-3：エナメルマトリックスタンパク質による歯周組織再生におけるアメロジェニンの役割

小方 頼昌<sup>1,2</sup>、高井 英樹<sup>1,2</sup>、中山 洋平<sup>1,2</sup>、深江 允<sup>3</sup>（<sup>1</sup>日大・松戸歯・歯周治療、<sup>2</sup>口腔科学研究所、<sup>3</sup>鶴大・歯・生化）

MS3-4：ブタ・アメロゲニンの選択的スプライシング、プロセッシング、タンパク-タンパク相互作用及び機能について

山越 康雄<sup>1</sup>、深江 允<sup>2</sup>、James P. Simmer<sup>1</sup>（<sup>1</sup>Dept. of Biologic and Mater. Sci., Univ. of Michigan School of Dentistry、<sup>2</sup>鶴大・歯・生化）

## メインシンポジウム 4

### MS4 口腔と関連器官の感染症 5W1H なぜ私はこの研究をしているのか

座長：川端 重忠（阪大・院歯・分子病態口腔・口腔分子感染制御）  
小松澤 均（鹿大・院歯・口腔微生物）

日時：9月22日9:00～11:30

会場：タワーホール船堀 A会場（大ホール）

MS4-1：次世代シーケンサを用いた微生物・感染症解析

飯田 哲也（阪大・微生物病研・感染症国際研究セ・ゲノム病原細菌）

MS4-2：ヒト口腔細菌叢の分子生態

坂本 光央（理研 バイオリソースセ・微生物材料開発室）

MS4-3：黄色ブドウ球菌の抗菌剤耐性に関する研究

小松澤 均（鹿大・院医歯・口腔微生物）

MS4-4：マイコバクテリアのチミジル酸合成酵素と組換え BCG ワクチン

大原 直也（岡大・院医歯薬・口腔微生物）

MS4-5：病態観察とゲノム情報から展開する A 群レンサ球菌の分子解析

寺尾 豊、川端 重忠（阪大・院歯・口腔細菌）

## ■ サテライトシンポジウム

### SS1 三叉神経領域の疼痛研究の最前線（末梢から中枢まで）

オーガナイザー：岩田 幸一（日大・歯・生理）

日時：9月20日13:00～15:00

会場：タワーホール船堀 B会場（小ホール）

SS1-1：三叉神経系疼痛異常の末梢機序：三叉神経節内ニューロン-グリア細胞間クロストークの役割

武田 守<sup>1</sup>、池田 水脈<sup>1</sup>、角井 淳<sup>1</sup>、高橋 誠之<sup>1</sup>、那須 優則<sup>2</sup>、北川 純一<sup>3</sup>、島 幸夫<sup>4</sup>、松本 茂二<sup>1</sup>（<sup>1</sup>日歯大 生命歯 生理、<sup>2</sup>日歯大 生命歯 共同利用研究セ、<sup>3</sup>新大・院医歯・口腔生理、<sup>4</sup>杏林大・保健・生化）

SS1-2：口腔顔面領域に発症する神経因性疼痛に対する活性型アストログリアの関与  
岩田 幸一<sup>1</sup>、岡田 明子<sup>2</sup>、坪井 美行<sup>1</sup>、近藤 真啓<sup>1</sup>、鈴木 郁子<sup>1</sup>、篠田  
雅路<sup>1</sup>、北川 純一<sup>3</sup>、BJ Sessle<sup>4</sup> (<sup>1</sup>日大・歯・生理、<sup>2</sup>日大・歯・口腔診断、<sup>3</sup>新  
大・院医歯・口腔生理、<sup>4</sup>トロント大・歯・口腔生理)

SS1-3：三叉神経節ニューロンの興奮機序：起炎物質による Na<sup>+</sup>および K<sup>+</sup>チャネルと  
活動電位との関連について

松本 茂二、吉田 清輝、池田 水脈、角井 淳、高橋 誠之、佐伯 周  
子、武田 守 (日歯大・生命歯・生理)

SS1-4：Role of Motor Cortex in Control of Orofacial Movements and in Adaptation to  
Pain and Other Intraoral Conditions

Barry J. Sessle (Faculty of Dentistry, Univ. of Toronto)

## SS2 「顎顔面口腔機能は脳によってどのように制御される か？」

オーガナイザー・座長：澁川 義幸 (東歯大・生理)

佐原 資謹 (岩医大・歯・口腔機能構造・口腔  
生理)

日時：9月20日 15:00～17:00

会場：タワーホール船堀 B会場 (小ホール)

SS2-1：脳機能イメージングで何がわかるのか

泰羅 雅登 (東医歯大・院総合科学・認知神経生物)

SS2-2：脳機能イメージングから行動発現機構にせまる

佐原 資謹<sup>1</sup>、小林 琢也<sup>2</sup>、鈴木 哲也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岩医大・歯・口腔機能構造・口腔  
生理、<sup>2</sup>岩医大・歯・歯科補綴・有床義歯補綴)

SS2-3：睡眠中の顎口腔運動とその異常

加藤 隆史<sup>1</sup>、吉田 篤<sup>1</sup>、増田 裕次<sup>2</sup> (<sup>1</sup>阪大・院歯・高次脳口腔機能・口  
腔解剖二、<sup>2</sup>松歯大・院・顎口腔機能制御)

SS2-4：精神疾患における社会機能障害：ミラーニューロンとの関連から

加藤 隆 (慶應大・医・精神・神経)

SS2-5：先天性無痛無汗症における感覚認知機構

澁川 義幸<sup>1,2</sup>、富岡 俊也<sup>3</sup>、松浦 信幸<sup>1,4</sup>、君塚 隆太<sup>5</sup>、田村 洋平<sup>4</sup>、住谷 昌彦<sup>3</sup>、新谷 益朗<sup>1</sup>、一戸 達也<sup>4</sup>、田崎 雅和<sup>1,2</sup>、芳賀 信彦<sup>6</sup>、山田 芳嗣<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>東歯大・口腔科学研究セ、<sup>2</sup>東歯大・生理、<sup>3</sup>東大・医附属病院・麻酔科・痛みセ、<sup>4</sup>東歯大・歯科麻酔、<sup>5</sup>東歯大・微生物、<sup>6</sup>東大・医附属病院・リハビリ)

SS2-6：脳磁図でみる顔面口腔の体性感覚機能と運動機能

中里 信和<sup>1,2</sup>、小枝 聡子<sup>3</sup>、里見 徳久<sup>3</sup>、菅野 彰剛<sup>4</sup> ( <sup>1</sup>東北大・院医・運動機能再建、<sup>2</sup>東北大・加齢医学研・神経電磁気生理、<sup>3</sup>東北大・院歯・顎顔面外科、<sup>4</sup>東北大・加齢医学研・脳機能開発研究)

**SS3 「唾液腺の機能発現と維持機構—女性研究者の視点から—」**

オーガナイザー：吉垣 純子 (日大・松戸歯・生理)

日時：9月20日13:00~15:00

会場：タワーホール船堀 G会場 (展示ホール1)

SS3-1：発育と加齢に伴うラット唾液腺分泌部実質細胞の形態および性状変化

池田 利恵<sup>1</sup>、菊池憲一郎<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>日歯大・東京短大・歯科衛生、<sup>2</sup>日歯大・生命歯・解剖2)

SS3-2：顎下腺の発生を制御する細胞内情報伝達機構の解明

小山 典子<sup>1</sup>、林 徹<sup>1</sup>、Edward W. Gresik<sup>2</sup>、柏俣 正典<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>朝日大 歯歯科薬理、<sup>2</sup>Dept. of Cell Biology and Anat., Sophie Davis Sch. of Biomed. Educ., City Univ. of New York)

SS3-3：ラット耳下腺導管細胞におけるプリン受容体を介する自発的 Ca<sup>2+</sup>反応：導管細胞におけるプリン受容体の新たな役割

設楽 彰子 (北医大・歯・薬理)

SS3-4：アクアポリンの耳下腺分泌顆粒における浸透圧調節機構

福島美和子<sup>1</sup>、吉垣 純子<sup>1</sup>、加藤 治<sup>1</sup>、祁 兵<sup>1</sup>、郭 明宇<sup>1</sup>、村上 政隆<sup>2</sup>、杉谷 博士<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>日大・松戸歯・生理、<sup>2</sup>自然科学研究機構 生理研 ナノ形態生理、<sup>3</sup>日大 生物資源 獣医生化)

## SS4 唾液腺から考える全身の健康—唾液腺健康医学の創生に向けて—

オーガナイザー：槻木 恵一（神歯大・顎顔面診断・病理）

日時：9月20日15：00～17：00

会場：タワーホール船堀 G会場（展示ホール1）

SS4-1：唾液腺健康医学の創生に向けて

槻木 恵一（神歯大・病理・唾液腺健康医学）

SS4-2：ストレス関連唾液腺由来 BDNF の役割

猿田 樹理（神歯大・成長発達歯・歯科矯正）

SS4-3：唾液腺を用いた遺伝子治療

山野 精一（ニューヨーク大・歯・補綴）

SS4-4：メタボローム技術を用いた唾液による癌の検出

富田 勝（慶應大・先端生命科学研）

## SS5 歯学領域におけるメンブレントラフィック研究

オーガナイザー：筑波 隆幸（長大・院医歯薬・医療科学・生命医科学・口腔病態薬理）

日時：9月20日13：00～15：00

会場：タワーホール船堀 G会場（展示ホール2）

SS5-1：新しいソーティングネキシン

竹内 弘（九大・院歯・口腔細胞工）

SS5-2：カテプシン群によるメンブレントラフィックへの影響

筑波 隆幸、岡元 邦彰（長大・院医歯薬・口腔病態薬理）

SS5-3：宿主細胞への細菌侵入とメンブレントラフィック

天野 敦雄、竹内 洋輝、古田 信道（阪大・院歯・口腔分子免疫制御・先端機器情報）

SS5-4：インスリン分泌顆粒の輸送を調節する新しい分子

兼松 隆、北山 友也（広大・院医歯薬・病態探究医科・歯科薬理）

## SS6 基質からみた硬組織の調節機構

オーガナイザー：網塚 憲生（北大・院歯・硬組織発生生物）

日時：9月20日15：00～17：00

会場：タワーホール船堀 G会場（展示ホール2）

SS6-1：骨基質における石灰化の微細構造

星 和人（東大・院医・軟骨・骨再生医療寄付講座（富士ソフト）

SS6-2：硬組織の発生と修復における細胞外基質のリモデリング

笹野 泰之（東北大・院歯・顎口腔形態創建）

SS6-3：基質石灰化における SIBLINGs の役割：DMP1 を中心に

豊澤 悟<sup>1</sup>、佐藤 淳<sup>1</sup>、石田 健<sup>1</sup>、新谷 誠康<sup>2</sup>、小守 壽文<sup>3</sup>（<sup>1</sup>阪大・院歯・口腔病理、<sup>2</sup>東歯大・小児歯、<sup>3</sup>長大・院医歯薬・細胞生物）

SS6-4：石灰化基質に対する骨細胞の作用

網塚 憲生、李 敏啓、山本 恒之（北大・院歯・硬組織発生生物）

SS6-5：骨芽細胞分化における膜結合性細胞外基質の役割

中村 浩彰（松歯大・口腔解剖二）